

クオール薬局で栄養相談をご利用の患者さまへ
～医学系研究へのご協力のお願い～

このたび、慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座では、クオール株式会社と共同で、患者さまによりよい栄養相談をご提供するために、以下の調査（保険薬局における管理栄養士による栄養相談の実態調査）を実施します。ご協力のほど、お願いいたします。

- 管理栄養士が、相談者の栄養や食生活に関する悩みや疑問について聞き取り、栄養学の知識に基づいてアドバイスをすることを「栄養相談」と呼んでいます。クオール薬局では、健康サポートイベントとして健康機器を利用した測定会や、食べ物や栄養などのセミナーを実施し、地域住民の方が栄養相談を受けることが出来る機会をご提供しています。
 - クオール薬局では、管理栄養士が栄養相談のときに記録を作成しています。記録には、相談者さまの年齢、性別、使っているお薬、相談された内容、管理栄養士がアドバイスした内容などが記載され、適切なアドバイスをすることに役立てられています。
 - この調査では、それらの記録を解析して、どのような栄養相談がおこなわれているのかを明らかにし、皆さまによりよい栄養相談をご提供することを目的としています。
 - この調査では、2016年1月1日～2020年12月31日までの栄養相談の記録を使用して、以下のデータ（いずれもお名前やご住所、電話番号、生年月日の情報は含まれません）について解析します。
 - ①年齢、性別、家族構成
 - ②身体測定値、生化学検査値
 - ③治療中の疾患
 - ④服用しているお薬や健康食品、サプリメント
 - ⑤管理栄養士がアドバイスした内容
 - ⑥おすすめした商品、購入した商品
 - ⑦次回診察日・相談日 等
- このほか、栄養相談を受けた薬局で処方されたお薬を受け取っていらっしゃる患者さまの場合、必要に応じて、栄養相談前後6ヶ月間以内の薬歴（薬剤師が患者さまにお薬の説明の際に体調や処方薬についておうかがいした情報の記録）の情報も使用いたします。
- この調査で使用する上記の記録は、誰の記録かわからない形にして、慶應義塾大学に提供されます。厳重に保管・管理されますので、個人情報が出ることはありません。

